西伊敷小学校

令和６年度第４回学校運営協議会議事録

１　期　日　　令和７年３月７日（金）　１０：００～１１：３０

２　場　所　　西伊敷小学校　校長室

３　出席者　　加藤　俊文，福徳　清和，栫　和嗣，村山　雅子，米倉　佐和，廣司　正良，有村かおり，脇元　次男

４　会順及び協議題
(1)　開会のことば（10:00）
(2)　学校運営協議会長あいさつ（10:00～10:05）
(3)　学校長あいさつ（10:05～10:10）
(4)　本年度の成果と課題について（10:10～10:45）
　○　学校評価自己評価書（１・２学期）等の説明
　○　学校関係者評価シートへの記入
(5)　令和７年度の学校経営について（10:45～11:10）
(6)　その他（11:10～11:30）
　○　意見交換
　○　令和７年度の学校運営協議会について
　○　委員の任期・委嘱について
(7)　閉会のことば（11:30）

５　協議の内容や意見等
○　職員の一人一授業の取組が「チーム西伊敷」につながっている。互いの授業を参観し合うことで，同僚のよさを認めたり，自分の授業改善に生かしたりすることができる。そして，結果的に子どもにかえっていく。
○　授業を以前見た際に，昔と教え方が変わってきていると感じたが，西伊敷小学校の先生方は，教え方に統一感があり，研修等を通してよく学んでいるのだなと感じた。子どもたちの聞く態度もよかった。
○　学力向上には，より力を入れてほしい。そして，学校の環境や設営にも反省を生かし次年度取り組んでほしい。そうすると，西伊敷小に通わせたい，西伊敷校区に住みたいという親子も増えていくことにつながる。
○　立腰の取組は是非継続してほしい。立腰には，体幹を鍛える必要があり，まずはそれを具体的に取り入れることも大切である。姿勢が保持できると，集中力が増し，話もよく聞けるようになる。一生の宝になる。
○　令和７年度の学校経営方針具体策に，性教育の充実が示されていた。今の時代の子どもたちには，幼・保・小から正しい知識等を獲得し，自他を

大切にする大人になってほしい。

○　いじめの重大案件がなかったと聞いて，子どもの心の安定が図られているのだなと感じた。また，そのためには，学級経営の安定が不可欠であり，担任の先生方や学校としての努力に感謝している。

○　児童集会でお別れ遠足を復活させてほしいと子どもたちが提案し，話し合ったことが実現できたことは，よい経験になったのではないだろうか。意見を述べることの大切さ等を学び，自己肯定感の高まりにもつながったと感じる。

○　最近，あいさつをしない子どもや通学路を通らない子どもが増えてきた。そして，乗用車での登校も依然として減らない。継続した指導が必要であると思う。

○　家庭教育の充実が必要であると感じる。ＰＴＡや保護者会等を廃止する傾向がみられるが，学校と親，親同士のつながりが希薄となり，必要な情報や学び等を得る機会が少なくなってしまう。ペアレントトレーニング等を取り入れて，親としての目標をもつ又は示すことも大切だと思う。学校・家庭・地域の三者連携が，二者連携とならないようにしたい。

○　様々な価値観や受け取り方をする状況がみられる今日，学校やＰＴＡからの情報発信や広報活動は大切であると思う。目に触れることで，知ったり気付いたりしてもらえる。

○　今年度の試みであった緑丘中学校区合同の学校運営協議会は，次年度も大切であると思う。中学校や他小学校の情報を得られるのがよい。

6　令和７年度の学校経営について

○　令和７年度学校経営グランドデザインや学校経営方針等について，学校長が説明を行い，委員の方から承認をいただいた。